

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	財務部収納課		■担当係	整理係
■評価事業名称	納税意識啓発事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	020500 - 075	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築		
	■施策	04 安定した財政基盤の確立		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	学齢層に対する納税意識の啓発普及を図るため租税教育のひとつとして「税に関する作品コンクール」を実施している。また、入選作品は 作品発表による啓発活動に利用するとともに口座振替の促進ポスターとしても利用している。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	納税意識啓発事業	児童・生徒	「税に関する作品コンクール」作品募集 出品数250件 ○租税教室	「税に関する作品コンクール」作品募集 作品応募数当市受付分 中学生作文 13編 小学生絵画 238点 合計251作品(学校応募547作品) ○租税教室 4小中学校

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	191	202	201	195	
人件費	2,218	819	901	1,114	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,409	1,021	1,102	1,309	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	税に関する作品コンクールの応募数	267作品	282作品	248作品	251作品	当市受付分

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

出品数の課目標250作品を確保している。

問題点・課題等

小中学校に参加を依頼しており、学校での取り組みが出品数に影響している。学校には同様の依頼が多くあり、対応に苦慮している模様。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

租税教育のひとつであり、税の重要性を認識させる機会として、出品数の多寡にかかわらず継続実施することが重要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了